

やってきました にっこりの季節

夏から秋にかけて美味しい梨を食べられる芳賀町。中でも“にっこり”は、10月頃から1月頃まで長く楽しむことのできる品種です。芳賀町の梨と“にっこり”、そして町が進める「にっこり栽培面積日本一」への取り組みをご紹介します。

☎農政課農業振興係 ☎028(677)1110

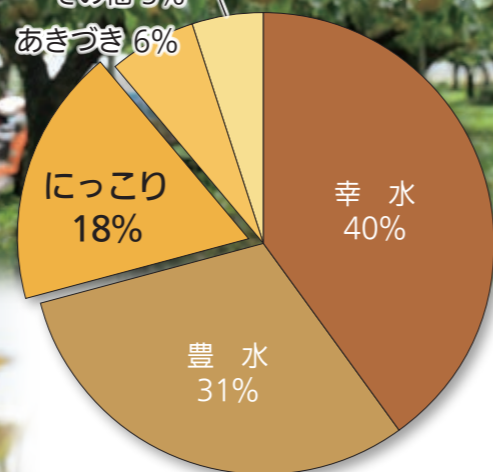


芳賀町の梨

芳賀町では「幸水」「豊水」「にっこり」「あきづき」などの品種が栽培されています。

町内における梨の栽培は、明治の初めに、千葉県市川市から来た監物平蔵さんが、町内に土地を借りて栽培したのが始まりだと言われています。以来、芳賀町は県内でも有数の梨の産地となりました。

芳賀町の梨の品種別栽培面積割合 (令和4年)



栽培面積全国1位を目指して “にっこり”日本一への 取り組み

芳賀町の“にっこり”栽培面積は、県内では宇都宮市に次ぐ第2位です。

町では全国1位の産地を目指し“にっこり”の栽培に取り組む梨農家を支援しています。苗木の購入や、ジョイント栽培など早期成園化を目指す取り組みへの補助などを行っています。

また、稲毛田梨団地整備事業による栽培面積拡大や道の駅はがでの商品販売などで“にっこり”の産地として、たくさんの人においしい梨を食べてもらえるよう取り組んでいます。



▲にっこり(ほぼ実物大)

稲毛田梨団地整備事業

稲毛田では、ほ場整備事業に合わせて梨団地の整備を進めています。令和3年度、約5.4haの広大な土地に2,200本の梨の苗木を定植しました。このうち、3分の2が“にっこり”です。今年度は、さらに1.4haに苗木を定植予定です。



▲梨団地内の様子

道の駅はがで販売中!



▲パワールパルフェ

▲にっこり梨チーズケーキ

道の駅はがでは、町内産の“にっこり”のほか、“にっこり”を使った商品も多数販売されています。甘くて芳醇な梨を、さまざまな形でぜひご賞味ください。

ほ場整備地内の梨は、梨団地利用組合で栽培を行っています。

「梨の里・芳賀町」を守るため、若手組合員も頑張っています。おいしい梨をたくさんの人に味わっていただけるよう頑張ります。



稲毛田梨団地利用組合長
山本 聖さん

梨の成分

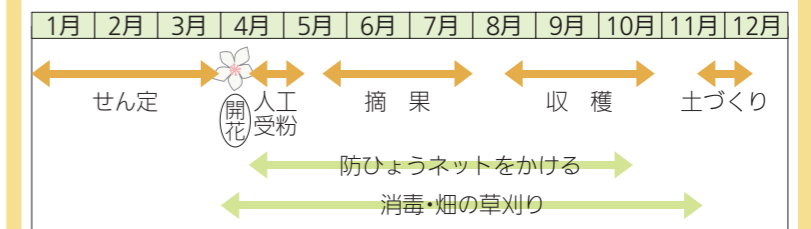
梨は、水分が約90%のみずみずしい果実です。リンゴ酸やクエン酸が豊富で、水分補給に最適です。カリウムを多く含んでいるため、むくみや高血圧の予防効果も期待できます。

にっこり

“にっこり”は「新高」と「豊水」を掛け合わせ、平成8年に育成登録された栃木県の品種です。

10月中旬から11月中旬に収穫されます。約1kgと大玉で、甘く柔らかいという特徴があります。年明けまで保存が可能で贈答用にも喜ばれます。

梨ができるまで



特集 ①
特集 ②
特集 ③
特集 ④
特集 ⑤
特集 ⑥
特集 ⑦